

伊、英の通訳士W取得

ホテル観洋
倉橋さん インバウンド増へ意欲

南三陸

南三陸ホテル観洋でインバウンド部長を務める倉橋誠司さん(54)が、イタリア語と英語の通訳案内士の資格をダブル取得した。イタリア語の通訳案内士の県内登録者は倉橋さんを含めて4人だけ。倉橋さんは「ヨーロッパからの外国人旅行者(インバウンド)の増加のために頑張りたい」と意欲を燃やす。

通訳案内士は観光庁の国家資格。外国人を観光案内するために高度な外国語能力をはじめ、日本全国の歴史や地理、文化の観光に関する質の高い知識が求められる。

倉橋さんは京都出身で、大学時代にイタリア語学部を専攻した。社会人になってからイタリア、シンガポール、ベトナムなどに赴任しており、英語はもちろん、イタリア、フ



合格証書を手にする倉橋さん

ランス、スペイン、ベトナム、タイのそれぞれで、外国人宿泊者の語り部も担当し、震災の教訓を英語で伝えている。昨年10月に南三陸町議に当選し、観光と町議の二足のわらじで町の復興に尽力している。

米国に住む日本人の友人の誘いや、南三陸の観光業の復興に必要な不可欠であると受験した。1次試験は日本の歴史や地理のほか、産業や経済、政治などの一般常識。2次試験は与えられたテーマについてそれぞれの母国語でプレゼンテーションを行った。

県の担当者による

と、県内のイタリア語通訳案内士の登録は倉橋さんが4人目。16年の県内の外国人延べ宿泊数は延べ19万9290人で、前年と比べて約9千人増加した。県の担当者は「中国や台湾が中心となっているが、今後はイタリアをはじめ、ヨーロッパからの観光客も増えて

くるので、イタリア語の通訳案内士が増えることは心強い」と語る。

倉橋さんは「資格取得できたことはうれしい。これがゴールではなく、気仙沼・本吉地方への外国人旅行客拡大に有意義に使いたい」と話している。

【三陸新報】

2018年

2月17日(土)